

花一会図書館便り

6・7月号（令和4年7月1日発行）

【TEL&FAX】

0136-57-6085

【MAIL】

hanaichie@voice.ocn.ne.jp

花一会ホームページ



Facebook



Instagram



Twitter

第6回

「郷土探索への道 黒沢温泉編(最終回)」

当時を知る町民が語る黒沢温泉

「郷土探索への道 黒沢温泉編」最終回は在りし日の黒沢龍雄氏を知る日出の野口信子さん、現在薬師神社と黒沢温泉跡地を管理している昆布の平岡敏昭さんからお聞きした当時の様子をお伝えします。

薬師温泉から黒沢温泉までの道程は約500mほどあったようですが、当時はちゃんとした道路があったわけでもなく、やっと一人一人が通れる獣道のようなものがあっただけだったようです。「郵便配達員が龍雄氏へ郵便を届けるのに、熊笹や雑木の枝、腰まで伸びた雑草をかき分けていくのが大変で、たまりかねた郵便配達員が休みの日に自ら草刈りをしていました。」こともあったそうです。また、黒沢温泉の建物は昭和49年に火事で焼失していますが、その火事が起こった際、「消防車両が通れる道なんかないから、薬師温泉から手押しポンプ車を消防団員といっしょ俺も担いで運んだんだ。一人一人が通れるような道を登っていくだからなかなかたどり着けなくて、着いたときにはすっかり焼け落ちてしまっていた。」というエピソードを平岡さんからお聞きしました。



当時を語る平岡敏昭さん

黒沢龍雄氏と面識があった野口さんは、「道も満足にない山の中で畑があるわけでもないでしょ。食べ物なくて腹減ってたんだと思うの。野菜とかもらいに度々家にやってきて、母がじゃがいもや玄粟に干してあるトウキビを食べれっていってあげてた。そしたらそのトウキビを美味しく食べてたのを覚える。ボロ服着て布袋を背負ってたんだけど、チェック柄のハンチング帽をかぶっていてハイカラに見えたのは、そういうことだったんだね。」と龍雄氏の青年期の経緯を知って腑に落ちたとのことでした。

祖母の営んでいた黒沢温泉跡で暮らし始めたときは一人暮らしでしたが、一時期は弟と二人で暮らしていました。龍雄氏は人づきあいが得意ではなかったようで弟のほうが社交的だったようです。活動範囲も、龍雄氏は日出の近所に野菜をもらいに行くぐらいだったようですが、弟は昆布市街まで出かけてきていたとのことでした。

黒沢龍雄氏は、岩内の医師の家に12人の兄弟姉妹の長男として生まれ育ちました。文学や芸術に興味を持ったのは、風流や芸術を愛した祖母（後に黒沢温泉を営むことになる）の影響でした。札幌の中学校へ進んだものの高等学校への進学を断念、帰郷して父の病院を手伝う傍ら文芸雑誌に小説、詩、俳句などを投稿し、絵画は北海道美術展へ油絵を出展し入選を果たしていました。小説家の谷崎潤一郎、詩人の萩原朔太郎、画家の三岸好太郎らの文芸人と交友を重ねながら自身も文学や芸術の道を志していたのでしょう。それがなぜ30代半ばで世俗を離れ、隠遁者となったのか。何を思いながらその不遇な生涯を終えることになったのでしょうか。『生まれ出づる悩み』は、蘭越町字日出黒沢温泉跡に埋もれたままです。

今月のおすすめ本 コーナー



『旅する54字の物語』

氏田雄介 編著 (PHP 研究所)

54字でキレイにオチがつく人気エンタメ文芸シリーズの最新刊。阿寒湖のまりもや、明石市の標準時子午線など、作中に名物や名所がさりげなく登場。楽しみながら都道府県の知識を得ること

が出来て、子どもにも大人にも嬉しい。読書が苦手な方にも◎。



『サクッとわかる ビジネス教養 地政学』

奥山真司 監修 (新星出版社)

ロシア・ウクライナの昨今の状況もあり、国際情勢を読み解く教養として一気に関心の強まった「地政学」。国ごとの思惑や目的、背景、戦略など難しそ

うな諸々をプロがタイトル通りサクッと解説。読んだその日からニュースの理解度が増して嬉しいお得な一冊。



『琉球建国記』

矢野隆 著 (集英社)

今年の5月に本土復帰50年を迎え話題となった沖縄。その沖縄が明治12年に「県」となるまでの450年間存在した「琉球王国」の歴史はどれだけご存じだろうか。これは、史実を元に

15世紀の琉球王朝の興亡を描いた物語。友情、敵対、繁栄、失脚…琉球の大地に立つ好漢たちの熱い生き様にガツンと胸を打たれる。



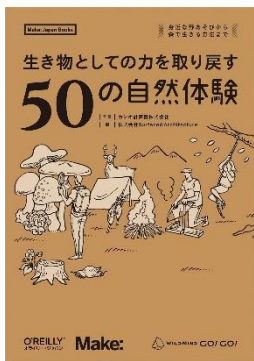
『はみだす 緑の路上園芸』

村田あやこ 文・写真 (雷鳥社)

店の軒先や舗装の隙間で見ると、何とも言えない趣のある「路上園芸」。著者がこれまで実際に出会ってきた路上園芸を元に

描かれた架空の園芸作品たちは、どこか見覚えのあるものばかりで笑ってしまう。読んだ翌日から、道端の路上園芸を探さずにはいられない。

夏を遊ばせたおせ!



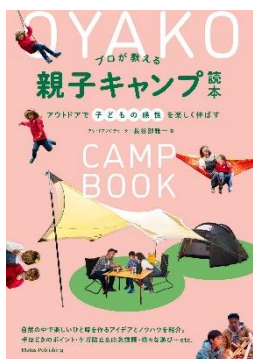
『生き物としての力を取り戻す
カシオ計算機株式会社 監修
(オンラインジャーナル)』



『ゼロから始める
溪流釣り入門』
(コスミック出版)



『沢登り ヤマケイ登山学校
山と溪谷社 編(山と溪谷社)』



『プロが教える
親子キャンプ読本』
長谷部雅一(メイツ出版)』



『焚き火料理の本』
子雀陣(山と溪谷社)』



『SUMMER DESSERT
夏こそ食べたい極上デザート』
ムラヨシマサユキ(成美堂出版)』